

文字によるコミュニケーションの特徴

インターネットの発展やスマートフォンの普及につれて、顔の見えない相手と文字でやりとりする機会が増えました。子どもたちの間でも、SNSや無料通話アプリを使ったやりとりは日常的なものになっています。しかし文字によるコミュニケーションでは、トラブルが起きやすいのも事実です。トラブルにならないために、文字によるコミュニケーションの特徴を押さえておく必要があります。

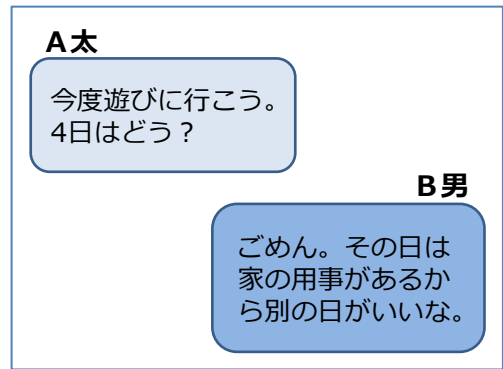
文字だと正確に情報が伝えることが可能

文字によるコミュニケーションが会話よりも優れている点は、情報を正確に伝えることができることです。会話では聞き間違いがおきやすい言葉でも、文字にするとぐっと伝わりやすくなります。

会話の場合

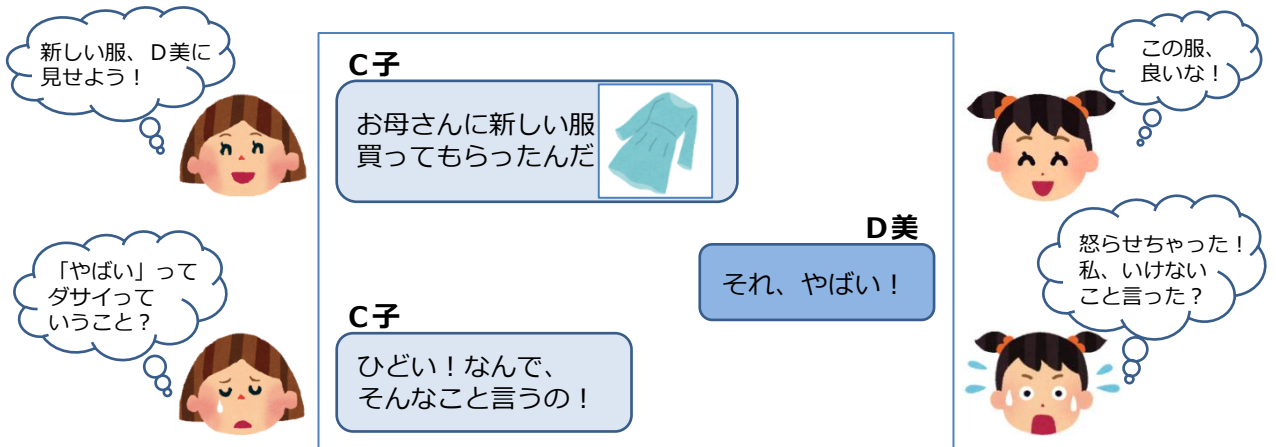


文字の場合



文字では気持ちが伝わりにくい

しかし一方で、気持ちが伝わりにくいという欠点もあります。顔の表情や声のトーンなどの情報がないため、微妙なニュアンスが伝わりにくく、誤解が生まれることがあるのです。



このやりとりでは、D美はほめたつもりで「やばい」という言葉を使ったのですが、C子は否定されたと受けとり傷ついてしまいました。

文字によるコミュニケーションは情報を正確に伝えることができる反面、気持ちが伝わりにくいという欠点があります。インターネットでやりとりをする際は、こうした特徴を理解しておくことが大切です。